

会 議 録

(1 / 7)

会 議 の 名 称		第 1 回 川越市文化芸術振興計画審議会
開 催 日 時		令和 7 年 7 月 2 9 日 (火) 午後 1 時 3 0 分 開会 ・ 午後 2 時 5 5 分 閉会
開 催 場 所		川越市役所 7 A B 会議室
議長 (会長) 氏 名		関口 俊一
出席者 (委員) 氏 名 (人数)		会 長 : 関口 俊一 副会長 : 野上 竜一 委 員 : 中島 裕紀、青柳 達雄、金子 洋子、白井 紀行 後藤 徳子、岩瀬 善彦、伊藤 彰一、西野 與利子、 山内 裕美 計 1 1 名
欠席者 (委員) 氏 名 (人数)		松本 隆、江原 誠 計 2 名
事 務 局 職 員 職 氏 名		文化スポーツ部 部 長 奥富 和也 文化スポーツ部文化芸術振興課 副部長兼課長 小高 浩人 副課長 奥富 崇史 副主幹 増川 聡 主 査 岸野 崇洋 主 査 内木 萌理香 主 事 齋藤 成
会 議 次 第	1 開 会 2 委嘱書交付 3 あいさつ 4 自己紹介 5 正副会長の選出 6 諮 問 7 議 事 (1) 「川越市文化芸術及び生涯学習に関する意識調査」の結果について (報告) (2) 第三次川越市文化芸術振興計画の進捗状況について (報告) (3) 第四次川越市文化芸術振興計画策定のスケジュールについて (4) 第四次川越市文化芸術振興計画策定方針 (案) 等について (5) その他 8 閉 会	
配 布 資 料		・ 令和 7 年度 第 1 回川越市文化芸術振興計画審議会 次第 ・ 川越市文化芸術振興計画審議会委員名簿 ・ < 資料 1 > 令和 6 年度川越市文化芸術及び生涯学習に関する意識調査報告書概要版 ・ < 資料 2 > 第三次川越市文化芸術振興計画事業点検シート評価一覧 ・ < 資料 3 > 第四次川越市文化芸術振興計画策定スケジュール (案) ・ < 資料 4 > 第四次川越市文化芸術振興計画策定方針 (案) ・ < 資料 5 > 第四次川越市文化芸術振興計画体系図 (案) ・ < 参考資料 > 令和 6 年度川越市文化芸術及び生涯学習に関する意識調査報告書 ・ < 参考資料 > 川越市文化芸術振興計画審議会条例

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
司 会 (文化芸術 振興課長)	1 開会 (午後 1 時 3 0 分) 2 委嘱書交付 文化スポーツ部長から出席者に委嘱書を交付した。 3 あいさつ (文化スポーツ部長) 4 自己紹介 出席委員及び市の担当職員の自己紹介を行った。 5 正副会長の選出 委員の推薦により、会長に関口委員、副会長に野上委員が選出され、それぞれ就任のあいさつを行った。 6 諮問 文化スポーツ部長より会長に諮問 7 議事 ※傍聴なし (1)「川越市文化芸術及び生涯学習に関する意識調査」の結果について (報告)
事務局	【主な質疑応答の経過】 (1) について説明。
委 員	これは感想なのだが、アンケートに具体性が無い、一般的なことを聞いているように感じる。 また文芸川越についてだが、第 1 次計画から今までの計画の中に掲載されていないようである。所沢市でも同様な事業をやっているようだが、頒布価格や参加者を見ると事業としての成長性があるようだ。川越市における文芸川越は頒布価格が 1, 0 0 0 円となっており参加者もじり貧状態にある。さらに言うと、川越市の文芸川越は若者の参加機会がない。ジュニア部門を作ってはどうかと思う。 さらに、市と大学間の連携講座についてだが、無料の自治体もあれば川越市のように有料としているところもある。なので自分は無料のところしか行っていない。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局	アンケートについてだが、設問による時代の経過を見たかったところが大きい。今まで第1次計画から第3次計画を策定してきた経過の中で、設問を引継ぎ、どの設問に変化がみられるかを見ようとしたものである。 設問の具体性については、今後、計画を改訂していくにあたり新たな視点で設問設定ができないか考えていきたい。 文芸川越については、他市の例をご提供いただき感謝する。本市においては参加者が少なくなっているという事実はあるので、今後あり方を考えていきたい。
委 員	文芸川越の今年度の予算はどの程度か。
事務局	今年度の予算は 707,000 円となっている。
委 員	文芸川越の収支決算は毎年行っているものなのか。
事務局	昨年度、文芸川越第45号を発行しており事業費は 777,552 円であった。主な費用は、印刷製本にかかる費用、編集委員会の開催に係る費用などであった。 若者の参加の面で、昨年度中学生の方が作品を作ったので投稿したいというお話もいただいたところであり、若い方の参加という面では、今年の編集委員会のほうでも議題に上げさせていただこうと考えている。
会 長	大学間の連携講座の部分についてはいかがか。
事務局	川越市の場合、市内大学に依頼をして講座の開催をお願いしているという事情があり、参加費は会場使用料や資料作成費、講師謝金などに充てられている。 もちろん費用面で公費負担分もあるところだが、なかなか無償化までには至っていない。今後も参加者の負担を少なくできるよう努めてまいりたい。
委 員	回答者数が多い地区と少ない地区があるが、例えば本庁地区では「ウェスタ川越が利用しやすい」とか、この地区ではこのような特徴があったと読み取れたとか、そういうものはあるか。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局	回答者数が多い地区と少ない地区があるのは、地区別人口の差によるものと捉えている。 地区別の傾向であるが、意識調査をまとめていくにあたり本庁地区の方の回答ではウェスタ川越を利用されている方が多いような傾向があった。 また、高階地区や福原地区では川越南文化会館の利用が、名細地区などの市西部の地区では川越西文化会館の利用がそれぞれ多い傾向があった。 (2) 第三次川越市文化芸術振興計画の進捗状況について (報告)
事務局	(2) について説明。
委 員	施策評価と担当課評価とあるが、施策評価とはどのようなものか。
事務局	施策評価については、担当課評価を集め平均となる評価を付したものである。平均がA～B、B～Cの間になるような場合は、切り上げとしている。
委 員	C評価やD評価の項目について原因究明を行い、対策に向けて動いていくのか、今後の見通しを教えてほしい。
事務局	C評価やD評価となった項目は、当初設定した目標がそもそも高かったものと考えている。 次期計画をまとめていくにあたり、現実的な目標値を設定しなおしたり、別の成果指標を検討したりすることが必要であると認識している。
委 員	そもそもこの評価は誰が行ったものか。
事務局	各担当課において、目標と現状を照らし合わせて評価を行ったものである。
委 員	担当者の私見が入ったりはしないものなのか。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局	ご指摘の点については、目標値に対して実績がどの程度の割合で上がっているかで評価をしているので、私見が入らない仕組みになっていると認識している。 例えば、「関連するイベントの開催件数・令和7年度30件」という指標があった場合、令和6年度の時点で〇〇件であれば、進捗率〇〇%ということで、どの評価になるか計算による判断をさせていただいている。
委 員	もう少し直感的な評価がわかりやすいと思う。担当課の評価だけではなく、アンケート調査などで事業への参加者の意見などが反映された評価があるとよりの確ではないだろうか。
事務局	アンケート調査の結果をもって評価をすることは重要なことだと考えている。次期計画をまとめていくにあたり、例えばこの事業に対してアンケートにより満足度が何パーセントあったというような指標設定ができるよう検討してまいりたい。
委 員	博物館事業にC、D評価が多いが、何か考えられる理由はあるだろうか。 例えば事業番号21はC、事業番号24はD評価になっている。
事務局	事業番号21については博物館の報告によると、当初目標をかなり高い水準に設定していたというものである。事業番号24については計画期間中に事業体制を見直したもので、開催回数が指標となっているが、指標設定後、1回あたりの事業内容を充実させる方向に転換したという報告が上がってきている。
委 員	5年間という計画期間に対して、低い評価のままというのはいかにかと思うので、事務局は博物館に対して働きかけをしていただきたい。
事務局	次期計画をまとめるにあたり、より適切な水準を精査してまいりたい。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
委 員	博物館の目標値の設定についてだが、5年前に文化芸術振興課とすり合わせをしたものなのか。
事務局	おのこの目標値の設定は、計画をリリースするまでに市の事業を整理し細施策に関連付けていったものである。 前回計画策定時は新型コロナウイルス感染症拡大期にあったため、細施策への事業の関連付けに若干の混乱が生じていたと思われる。
委 員	新型コロナウイルス拡大が影響しているのであれば、すべての取組評価が悪いものになっていると思う。博物館の目標値設定だが、現計画と同じような目標値設定をして、評価が悪くなってしまうのはよくない。 評価基準が人数なのか回数なのかいろいろあると思うが、評価が悪かった取組に対しては、次はどのような基準で評価していくのか事務局と博物館とで調整を図ってほしい。
事務局	委員皆様からあった、市民意見や目標値の御指摘を踏まえ、担当課の視点が計画にそぐうかどうかを注視しながら計画策定を進めてまいりたい (3) 第四次川越市文化芸術振興計画策定のスケジュールについて
事務局	(3) について説明。
委 員	前回も委員をした経験から申し上げたい点だが、前回パブリックコメントを実施した際、寄せられた市民意見の件数が少なかった。 今年度、市ではいくつかの計画を更新する予定と伺っているので、市全体で市民意見をたくさんもらえるような仕掛けがあるとよい。
事務局	委員御指摘のとおり、今年度は多くの計画更新を検討している年度である。 パブリックコメントについては、政策を取りまとめている部署と調整しながら、市民意見をいただけるよう検討していきたい。

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局	(4) 第四次川越市文化芸術振興計画策定方針(案)等について (4) について説明。
委 員	第三次を踏襲すると説明があったが、第三次計画と方針(案)を 比べた時に現状にあわせて改善している点があると思う。 次回の審議会の際に、具体的な変更点を説明いただけると深い議 論ができると思う
事務局	そのようにできるよう進めてまいりたい。 (5) その他 今後のスケジュールについて説明(委員から質問、意見はなし)。 第2回川越市文化芸術振興計画審議会は、川越市立美術館アート ホールにて、8月28日(木)午前10時から開催することを確認 し、終了した(午後2時55分)。